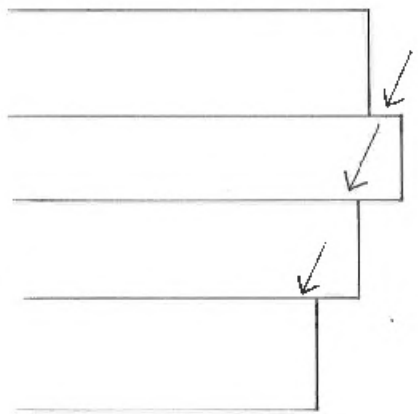
渦まく住宅

ずらす：光が差し込む空間

除間から光を取り込み、明るく開放的な空間をつくる。高低差のある開口部から差し込む光が、時間ごとに空間の見え方を変化させる。ずれによって生まれる今までにない光の広がりが、新たな空間体験を生み出す。

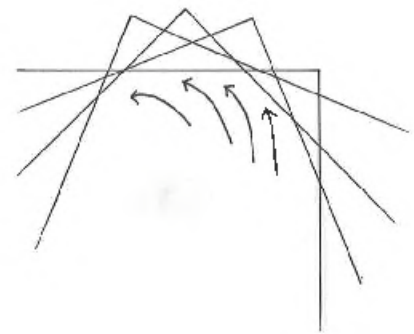
つなぐ：視線がつながる空間

ボックスのずれを連続させることで、空間同士を緩やかにつなぐ。壁によって空間を分断しながらも、視線のつながりを生み出す。様々な方向へ視線が広がることで、多様な楽しみ方を生み出す。



ずらす＋つなぐ

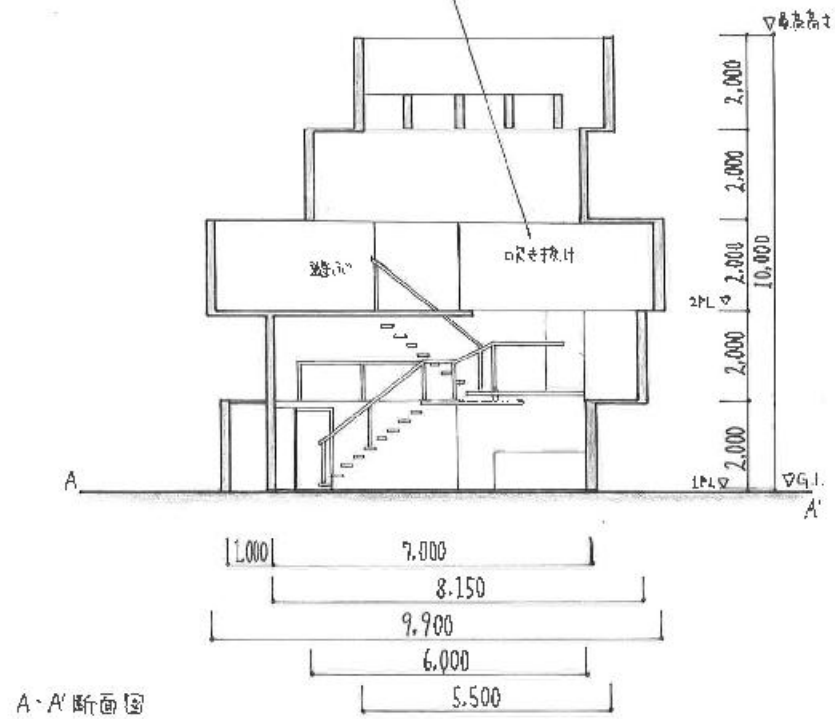
- できた除間から新たな空間が生まれ、そこから光を取り入れる。
- 緩やかな曲線をイメージさせ、流れるように視線を誘導する。



渦まく住宅	
コンセプト・ダイアグラム	
建築デザイン学科	
CP26011 上枝優護	

渦まく住宅	
配置図 1:500	
建築デザイン学科	
CP26011 上枝優護	

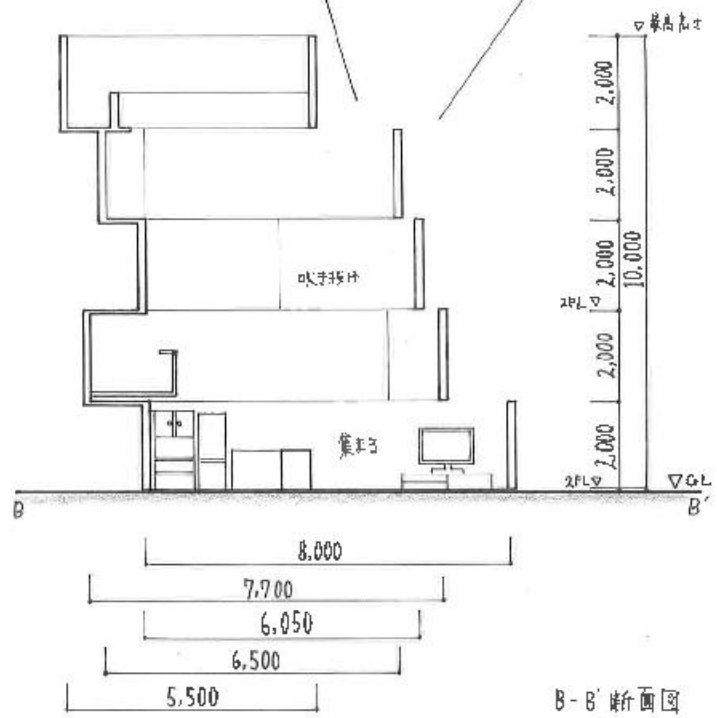
吹き抜けを通して、1つ1つの空間をつなぐ



A-A'断面図

どうすることで生まれる光の通筋

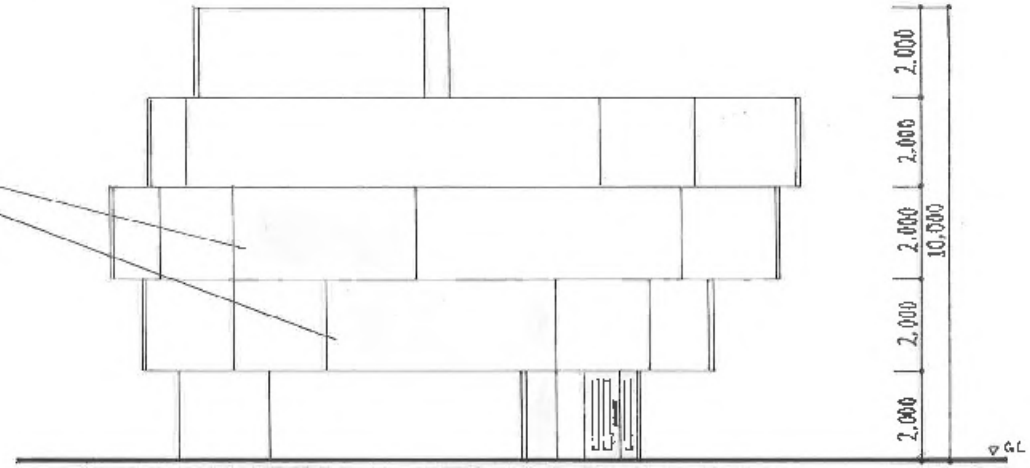
高さが異なることで、多様な光の通筋が生まれる。

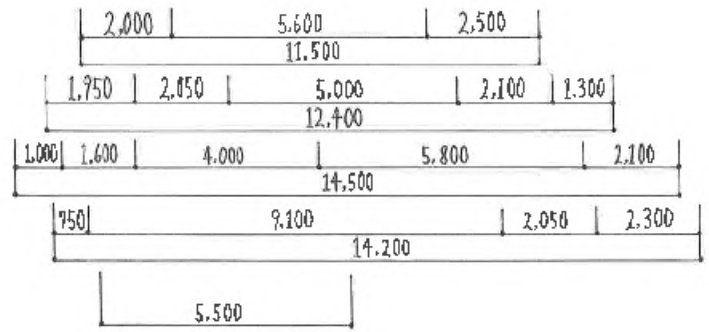


B-B'断面図

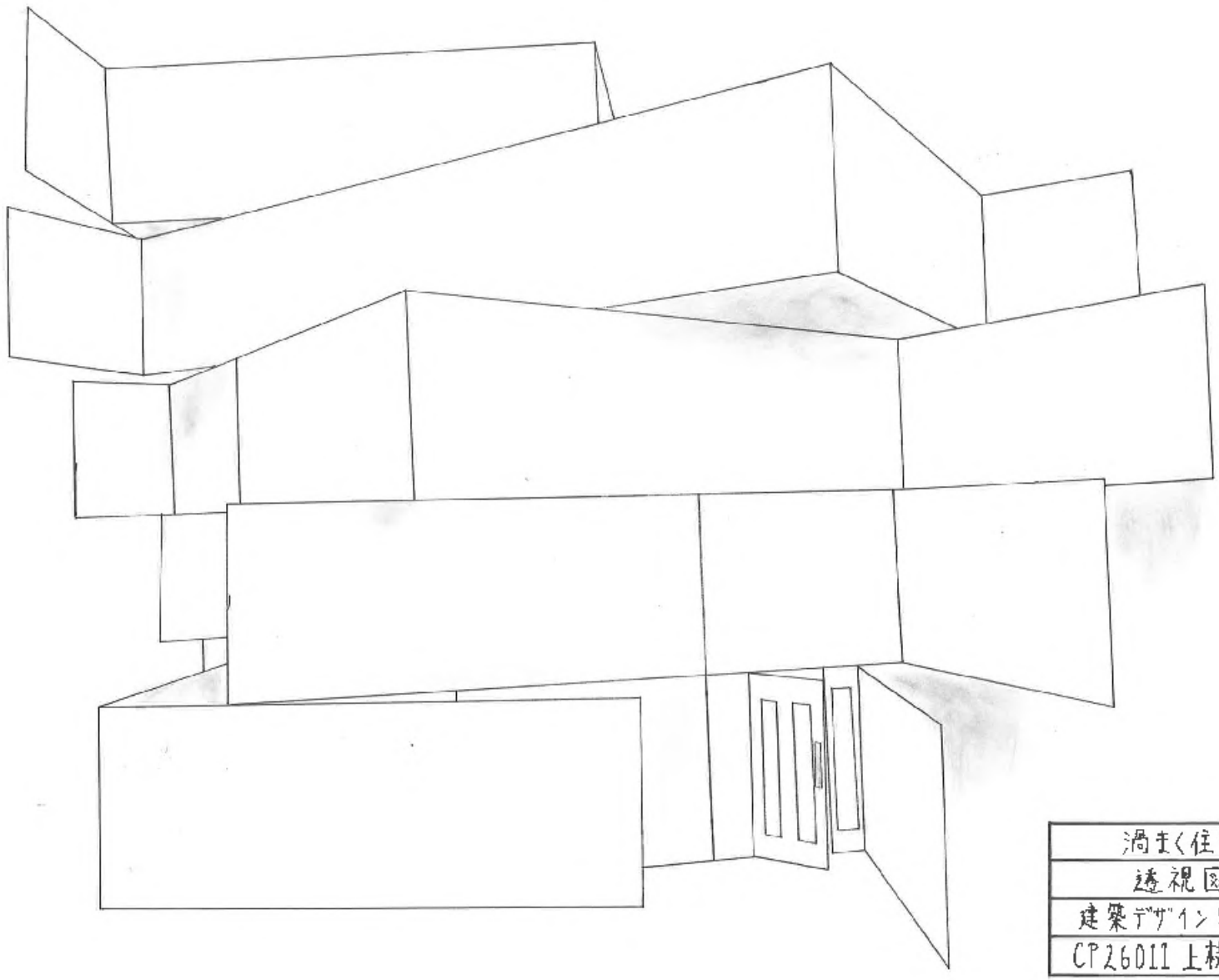
渦まく住宅	
断面図 1:100	
建築デザイン学科	
CP26011 上枝優護	

壁の一部をガラスとし，間接的に光を取り込む



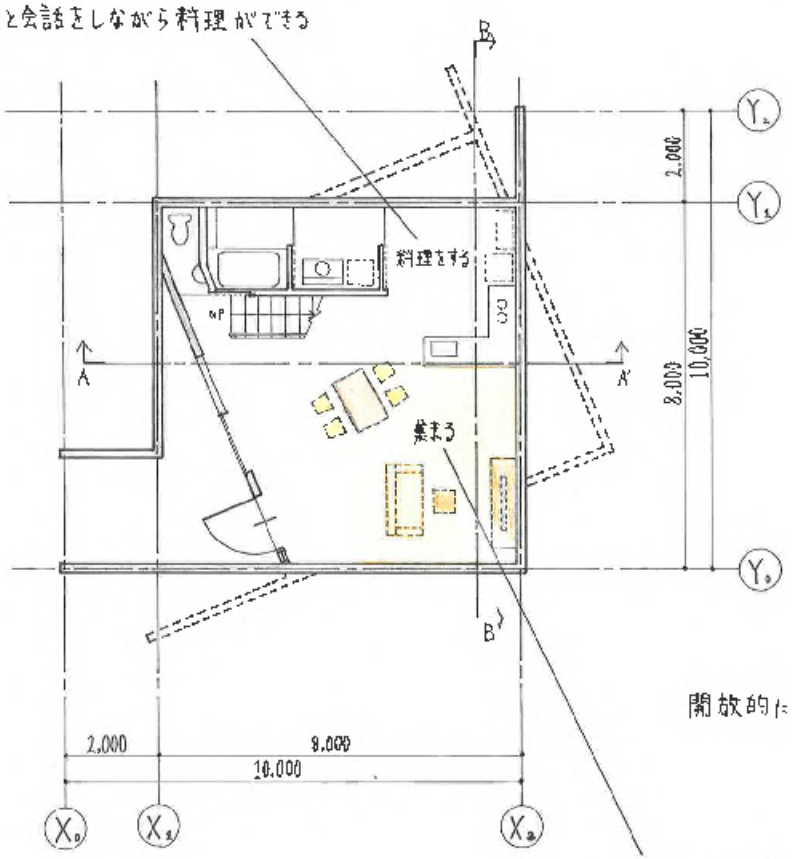


渦まく住宅	
西立面図 1:100	
建築デザイン学科	
CP26011 上枝優護	



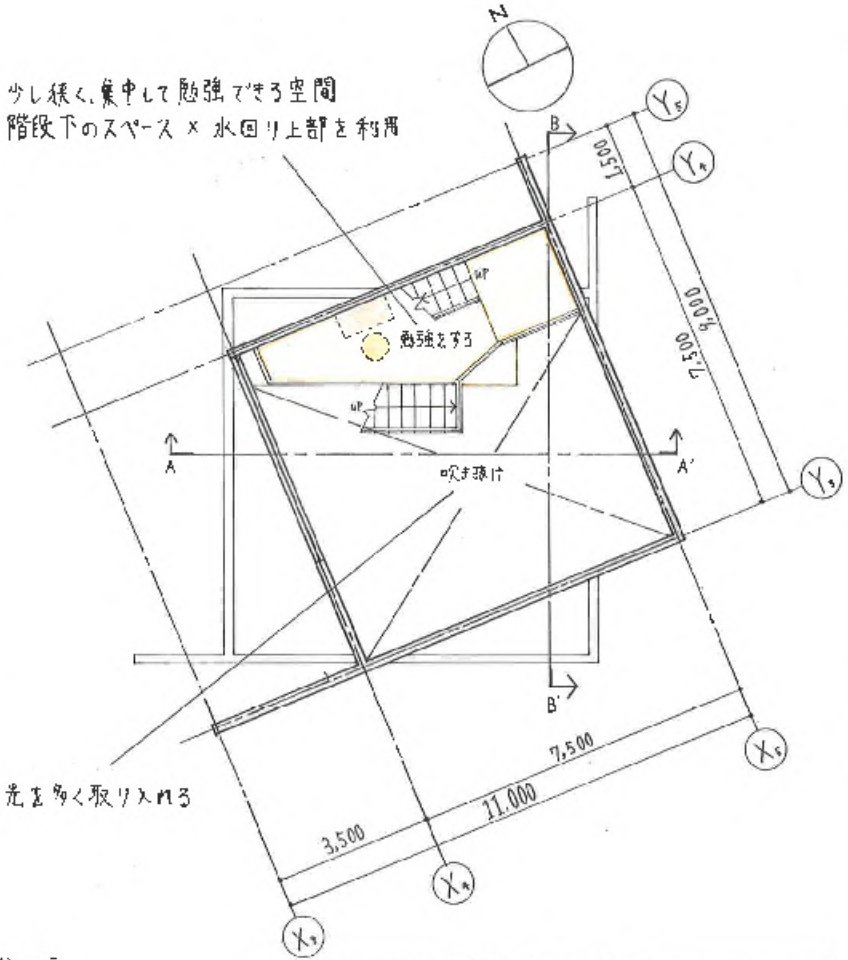
渦まく住宅	
透視図	
建築デザイン学科	
CP26011 上枝優護	

家族と会話をしながら料理ができる



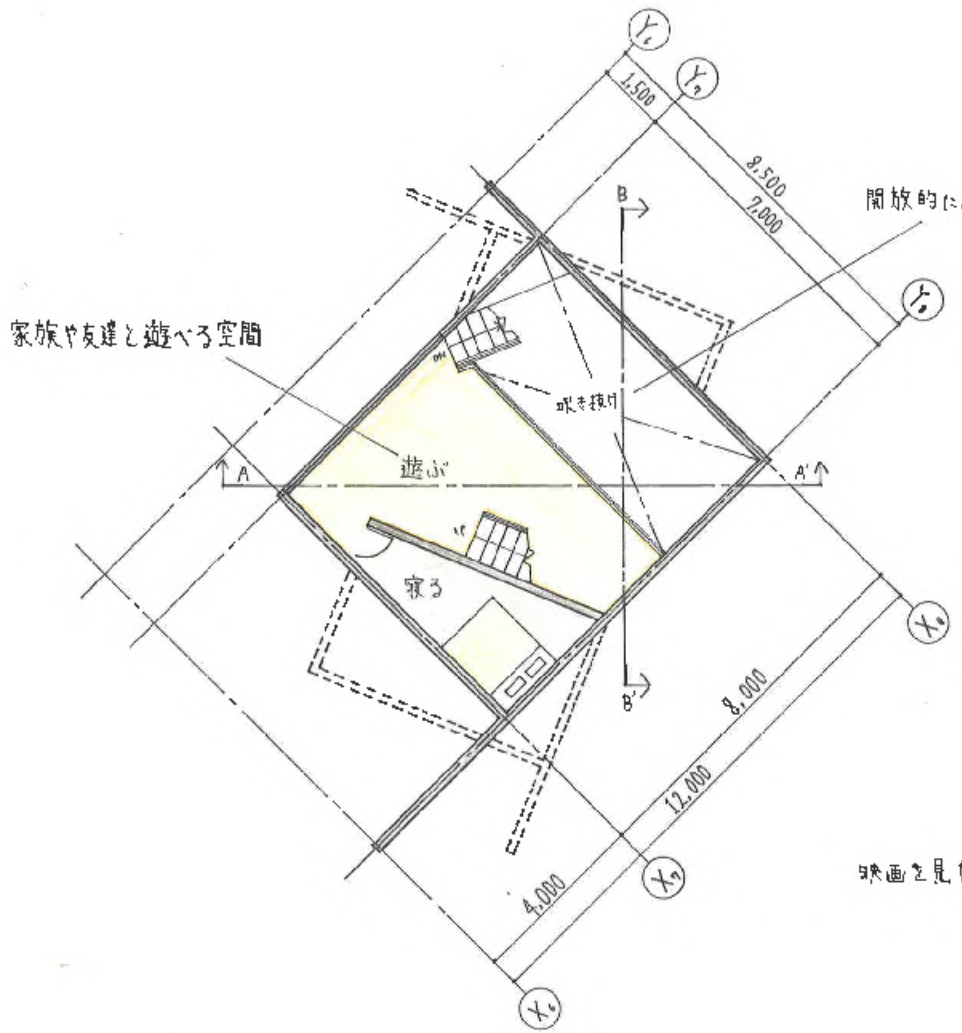
入り込む光を感じながら
家族が集まる明るい空間

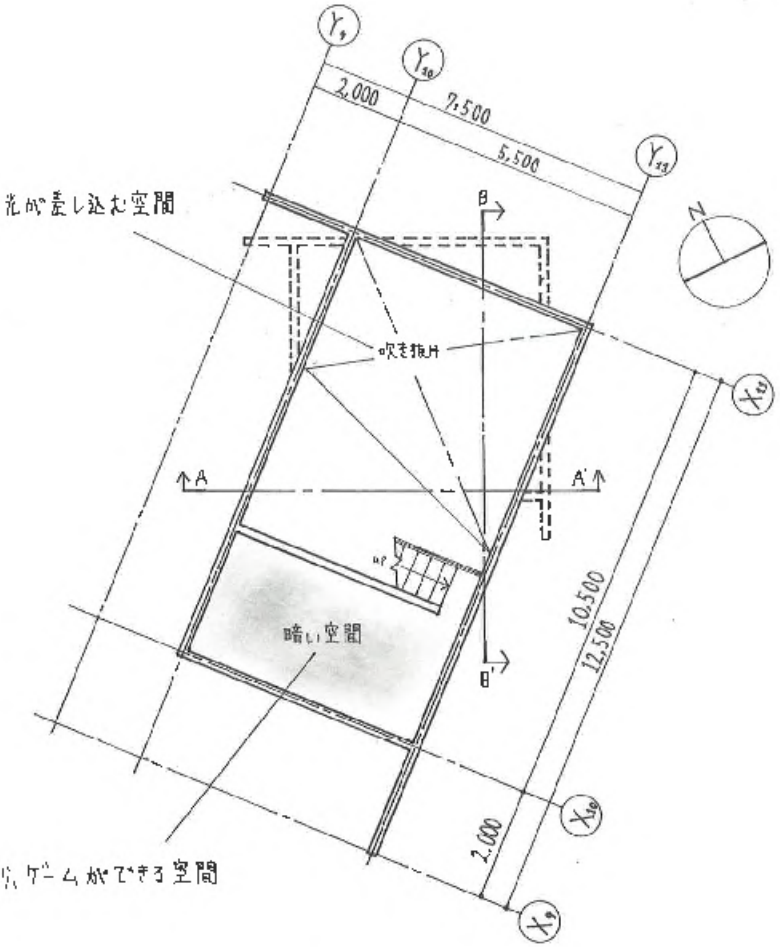
少し狭く、集中して勉強できる空間
階段下のスペース × 水回り上部を利用



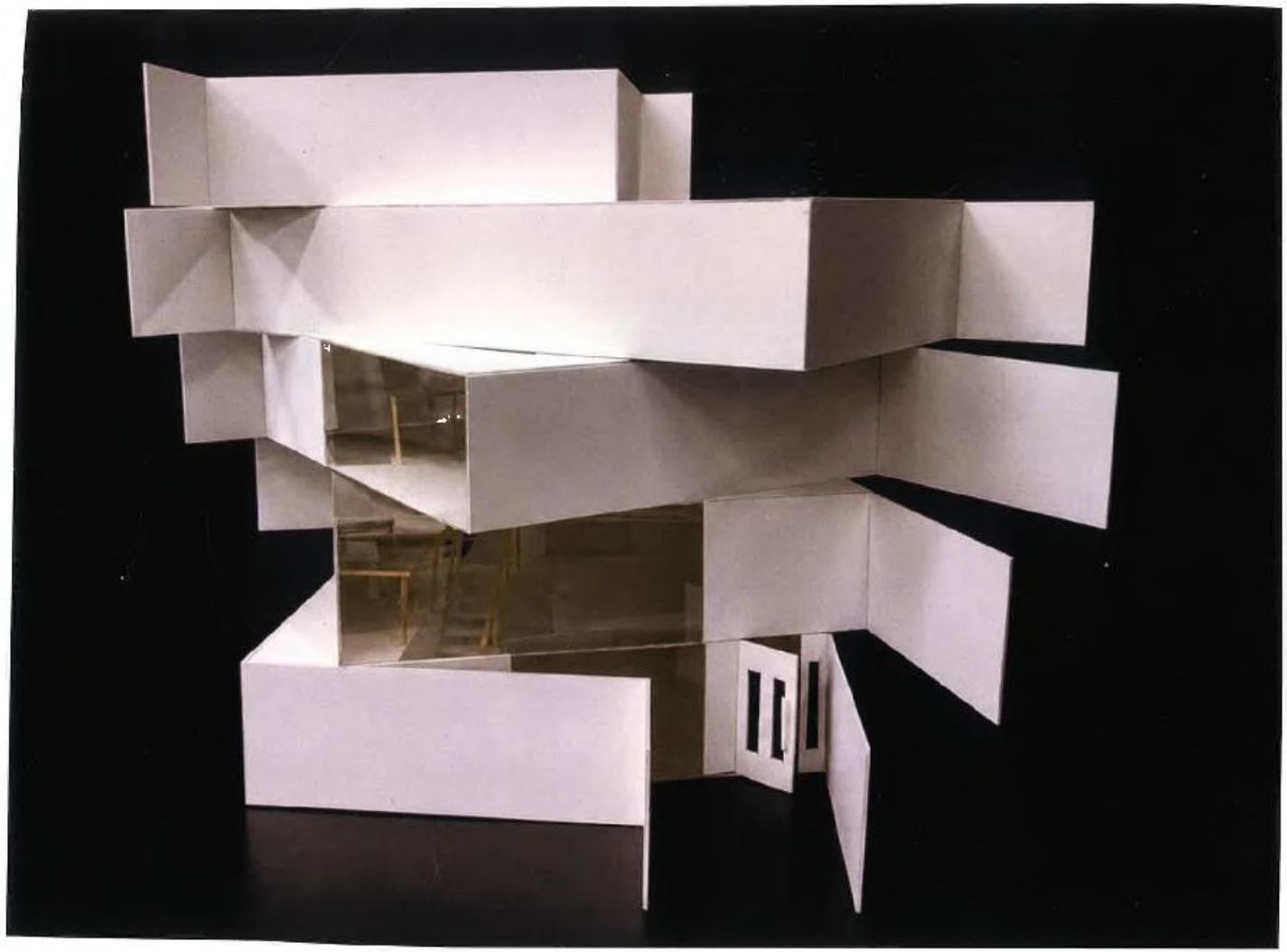
開放的にし、光を多く取り入れる

渦まく住宅	
1階平面図 1:100	
建築デザイン学科	
CP 26011 上枝優護	





渦まく住宅	
2階平面図 1:100	
建築デザイン学科	
CP26011 上枝 優護	



渦まく住宅	
模型写真	
建築デザイン学科	
CP26011 上枝優諒	